

〔著訳者紹介〕

(掲載順)

平 修久 タイラ・ノブヒサ

聖学院大学副学長、政治経済学部長。

1955年生まれ。1978年東京大学都市工学科都市計画コース卒業。1987年コーネル大学都市及び地域計画学科博士課程修了、1988年同大学同学科修士取得。1990年同大学同学科Ph.D（都市及び地域計画学）取得。1978～1990年（社）海外コンサルティング企業協会（この間、（株）パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナルに2年間出向）、1991～2000年（株）富士総合研究所。2000年より聖学院大学政治経済学部政治経済学科教授。

〔著書〕『世界都市の成長と基盤整備——ニューヨーク・ロンドン・パリ』（共著、アーバン・コミュニケーションズ、1992年）、『東京はこう変わる』（共著、東洋経済新報社、1995年）、『成熟都市東京のゆくえ』（共著、ぎょうせい、1998年）、『首都圏自治体の攻防』（共著、ぎょうせい、2001年）、『情報化で蘇る都市』（共著、ビジネス教育出版、2002年）、『地域社会に求められる人口減少対策』（聖学院大学出版会、2005年）、『もうひとつのスマートグロース』（三恵社、2009年）など。

朴 憲郁 パク・ホンウク

1950年岐阜県生まれ。1974年東京神学大学大学院神学研究科修士課程修了（Th.M.）、1975年（韓国）基督教大韓監理教神学大学研修修了。1978年（韓国）大韓イエス教長老会神学大学大学院修了（Th.M.）。1978年10月在日大韓基督教牧師受接、1976～2002年3教会で伝道師、牧師を歴任。1983～1988年ドイツ留学。チュービンゲン大学神学部博士課程修了（新約神学：Th.D. 1988年）。1989～2001年明治学院大学、青山学院大学、日本ルーテル神学大学、聖学院大学、2010～2012年東京女子大学にて非常勤講師歴任。1989年10月より東京神学大学非常勤講師。1993より上智大学神学部および同大学院神学研究科非常勤講師。1994年4月より東京神学大学常勤講師、1997年同助教授、2002年より同教授。2003年より日本基督教団千歳船橋教会主任牧師。

〔著書〕『朱基徹——偉大な勝利の殉教者』（教会新報社、1983年）、『パウロの生涯と神学』（教文館、2003年）。Die Kirche als “Leib Christi” bei Paulus, Brunnen Verlag, 1992.「パウロにおける〈キリストの体〉としての教会理解」、百瀬文晃編『教会その本質と課題を学ぶ』（サンパウロ、1995年）、「パウロ研究」、『現代聖書講座第2巻』（日本基督教団出版局、1996年）、「多宗教社会におけるキリスト教教育学の課題」、倉松功・近藤勝彦編『福音の神学と文化の神学』（教文館、1997年）、「教会における児童礼拝とその説教」、山口隆康・芳賀力編『説教と言葉』

(教文館, 1999年)など多数。

柳田 洋夫 やなぎだ・ひろお

1967年生まれ。東京大学文学部倫理学科卒業。東京大学大学院人文科学研究科（倫理学）修士課程修了。同博士課程中退。東京神学大学大学院博士課程前期修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科後期博士課程修了。博士（学術）。現在、聖学院大学人文学部チャブレン、人文学部日本文化学科准教授。日本基督教団聖学院教会協力牧師。
〔論文〕「山路愛山における『共同生活』概念について」（『聖学院大学総合研究所紀要』37号、2007年）、「リチャード・ニーバーの責任倫理と日本人」（『季刊 教会』No.68・69、2007年）、「山路愛山の教育論」（学校伝道研究会『キャンパスミニストリー』第19号、2009年）、「なぜ日本に文化の神学が必要なのか——内村鑑三の文明論を中心に」（『聖学院大学総合研究所紀要』47号、2010年）、「関東大震災と説教者——植村正久と内村鑑三に即して」（『説教黙想 アレティア』、日本キリスト教団出版局、2011年）など。
〔訳書〕コリン・E・ガントン『説教によるキリスト教教義』（教文館、2007年）、アリスター・E・マクグラス『歴史のイエスと信仰のキリスト』（キリスト新聞社、2011年）。

宮 本 悟 みやもと・さとる

1970年生まれ。同志社大学法学部卒。ソウル大学政治学科修士課程修了〔政治学修士号〕。神戸大学法学研究科博士後期課程修了〔博士号（政治学）〕。日本国際問題研究所研究員、聖学院大学総合研究所准教授を経て、現在、聖学院大学政治経済学部特任教授。専攻は国際政治学、政軍関係論、比較政治学、朝鮮半島研究。

〔著書〕『北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか？——政軍関係論で読み解く軍隊統制と対外軍事支援』（潮書房光人社、2013年）。
〔共著〕中川雅彦編『朝鮮社会主義経済の現在』（アジア経済研究所、2009年）、Takashi, Inoguchi ed., Japanese and Korean Politics: Alone and Apart from Each Other (Palgrave Macmillan, January 2015)、猪口孝監修『日本と韓国——互いに敬遠しあう関係（現代日本の政治と外交7）』（原書房、2015年）、木宮正史責任編集『朝鮮半島と東アジア（シリーズ日本の安全保障6）』（岩波書店、2015年）、川上高司編著『「新しい戦争」とは何か——方法と戦略』（ミネルヴァ書房、2015年）。

川田 虎男 かわた・とらお

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。社会福祉士。大学卒業後、社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉法人、日高市議会議員、認定NPO法人ハンズオン埼玉事務局長

を経て、現在同法人理事、聖学院大学ボランティア活動支援センターアドバイザー、同大学非常勤講師（ボランティア論）。ボランティア・市民活動支援と地域福祉分野を専門にしている。2016年4月より立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士後期課程在籍。
〔著書〕『社会福祉士国家試験対策標準テキスト』（共著）、『社協ノ宝もの』（編集）。

志塚 昌紀 しづか・まさのり

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。2009年、横浜市「開国博Y150」市民創発事業のチーフファシリテーターとして、180に及ぶ市民創発プロジェクトを支援。以降、対話型のワークショップを通じた市民ムーブメントを仕掛けている。2011年～2013年、外部専門員として埼玉県共助社会づくり課にてNPO支援に従事。現在、東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科専任講師。

五十嵐 成見 いからし・なるみ

1980年生まれ。青山学院大学文学部英米文学科卒。東京神学大学神学部および東京神学大学大学院神学部修士課程修了（組織神学）。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士課程在籍。日本キリスト教団阿佐ヶ谷教会伝道師・副牧師の後、現在、日本キリスト教団花小金井教会牧師。社会福祉法人しおん学園評議員および滝山しおん保育園チャプレン。元青山学院高等部聖書科非常勤講師。2016年4月より聖学院大学非常勤講師。

〔著書〕『主イエスを愛し続けて』（共著、説教塾紀要別冊説教集、教文館、2014年）。
〔論文〕「ラインホールド・ニーバーの神話・象徴論——歴史と超歴史の弁証法的次元の表現」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.58、聖学院大学総合研究所、2015年）、「ラインホールド・ニーバーの愛の理解——犠牲愛と相互愛の関係を通して」（『青山学院高等部研究報告』第36号、青山学院高等部、2015年）、「ラインホールド・ニーバーの恩寵論——一般恩寵の関係を含めて」（『聖学院大学総合研究所紀要』No.60、聖学院大学総合研究所、2016年）。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得、単位取得退学。2003年より聖学院大学人文学部日本文化学科所属、2016年4月より同教授。2012～13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。歴史言語学・通時統語論・比較統語論専攻。主な研究テーマは、古英語・中英語における言語変化。初期英語のキリスト教文献を中心に、文献学にも研究を進めている。